

幼児文化芸術

花咲く「令和」心に花を

「令和」の時代が始まりました。新元号は万葉集「梅花の歌三十二首」が典拠とされ、「日本の四季折々の文化を次の世代に引きつぎ、日本人一人一人が大きな花を咲かせる。」という願いが込められています。今から千三百年前、老若男女、身分の違いもなく詠まれた三十一文字のことばにふれると、日本人の美しい心と、豊かな感性が伝わってきます。

新しい時代は、「超スマート社会」といわれ、ITやAIとの融合は物質的には快適な生活となりますが、本場の「快」心地良さ、心の豊かさを得られるのでしょうか。

本財団では、感性豊かな幼児期に、一流、本物にふれる文化芸術体験をプログラムしています。実体験が与える情報量は膨大で、ネットやスマホと比べて何十倍、何百倍にも匹敵します。とくに「人間」から生まれる声、動き、音色、創作という、多様性を五感で捉えることができます。また鑑賞するだけでなく、実際に歌う、踊る、奏でる、創るという表現をすることで、子どもたちの感覚や感性は大きく磨かれます。

そして毎年三月には、一年の集大成として会員園の親子が一堂に会し、ともに歌い、体験する『幼児文化芸術祭』が開催されます。花咲く「令和」の時代、今年も一流、本物の文化芸術にふれ、子どもを中心に、多くの人間がふれあい、次の世代が心に花を咲かせる活動をすすめてまいります。本年も会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(財) 幼児文化芸術協会 会長 岡田勝彦

志だみ幼稚園

金管楽器の仲間たち

六月五日(水)は本園の「わくわくタイム」の日。毎週水曜日、学年の枠を超えて一つのテーマを決めて園全体で遊ぶ取り組みをしています。

今日のテーマは「金管楽器の仲間たち」と題して、本物の金管楽器の音色に触れてみました。毎年数回、そして3年間の中で本物の文化芸術に触れる機会を作っています。技や技術の習得ではなく心に響く体験を目的にしています。

「トランペット」や「トロンボーン」、「ホルン」に「ユーフォニアム」ぐらいはわかって、まさかこれほどまで賑やかな仲間たちが集まってくれるとは！

「ボケットトランペット」「ピッコロトランペット」「コルネット」「フリューゲルホルン」初めて見て、初めて名前を聞いた楽器でした。もちろん音色も微妙に違ってました。一つひとつの音色を聴いたり演奏するときの動作などに子どもたちも興味津々。

こんなうっとりとした聞き入ってくれる子どもたち、素敵です！



2019年7月吉日

第18号

発行:



一般財団法人
幼児文化芸術協会

会員園ご紹介

- 栄光八事幼稚園(天白区)
- 小幡あさひ幼稚園(守山区)
- 志だみ幼稚園(守山区)
- とみよし幼稚園(愛西市)
- 名古屋西幼稚園(西区)
- 鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
- 美里幼稚園(豊田市)

※50音順

会員園トピックス

栄光八事幼稚園

パーカッションと遊ぼう

六月十九日(水)ドラム&パーカッション講師のノブ先生をお招きし、『パーカッション』を体験しました。

まずは、様々な楽器の紹介と叩き方を教えて頂き、その後、直に触れさせていただきました。

「スプリングドラム」「ピブラスラップ」「カウンドホース」等々、普段では見られない楽器がずらり、さて、どんな音がするかな？耳を澄ませてみましょう…。

「わく、素敵な音」パーカッションの音の楽しみ方は、「たたく」「こする」「ふる」の三つだそうですね！子どもたちは楽しそうに音を奏でていました。

集会では、ノムノムとめぐるみお姉さんのお話や、素敵な曲を演奏して頂きました。みんながよく知っている「ミッキーマウスマーチ」や「シングシングシング」、そして最後には「宝島」など、子ども達は、ノリノリで手拍子をしていました。

教えて下さったノブ先生、熱心なご指導ありがとうございました。



第7回 幼児文化芸術祭開催!

「幼児第九」を発表しました♪

平成31年3月24日(日)、愛知県長久手市の「愛・地球博記念公園」(通称:モリコパーク)の地球市民交流センター体育館において、「第7回 幼児文化芸術祭」を行いました。

当日は、幼稚園7ヶ園の年長児300人、市民合唱団、各園のママさんコーラス総勢500人がステージに立ちました。

客席の家族も一緒に歌い、体育館は歌声で満ちました。



Information

第7回 夏季保育者研修会

今年度は、8/5に開催します。

保育者の皆さんが集まり、文化芸術に親しむ体験プログラムを実践し、幼児教育のレベルアップを目指します。



昨年度の風景